

オプション検査について

	検査	検査について（関連する部位）
腫瘍マーカー	腫瘍マーカーの値は、体の中にあるがん細胞の量や活動に比例して変化することがあり、高値の時はがんの可能性があるため、医療機関を受診してください。	
	SCC（扁平上皮がん関連抗原）	肺、食道、子宮
	抗p53抗体	大腸、食道、乳
	CEA	大腸・胃などの消化器、肺など
	CYFRA(575)	肺
	CA19-9	膵臓・胆道・大腸・胃など消化器
	AFP	肝臓
	PSA（男性のみ）	前立腺
	CA125（女性のみ）	卵巣
リスク検査	ロックスインデックス	将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する検査です。 ※下記のいずれかに当てはまる方は正しい結果が得られないため、検査は受けられません。 ■妊娠中、出産3ヶ月以内の方 ■風邪、関節リウマチの方
	MCIスクリーニングプラス	認知症の前段階であるMCI（軽度認知障害）のリスクを判断する検査です。 ※下記のいずれかに当てはまる方は正しい結果が得られないため、検査は受けられません。 ■すでに認知症と診断されている方 ■自己免疫疾患（急性期）をお持ちの方
	アミノインデックス® がんスクリーニング（AICS®） 【要予約】 検査は平日午前中のみとなります	現在がんに罹患しているリスク（可能性）を予測する検査です。 ■男性AICS®（40～80歳）：5種（胃・肺・大腸・前立腺・膵臓） ■女性AICS®（25～80歳）：6種（胃・肺・大腸・乳・子宮・膵臓） ※注意事項 ■がん既往歴（現在治療中のがん患者の方を除く）がある方でも、AICS®が高値を示す事がある可能性をご理解いただいた上で、受診いただくことは可能です。 ■AICS®は、採血を行った時点でのがんである可能性を評価する検査です。生涯にわたってのリスクを予測するものではありません。受診の頻度等については、医療機関の医師とご相談ください。 ■妊娠されている場合、結果に影響がありますので受けられません。 ■検査前の8時間は、水以外は摂らないでください。 ■正しい検査結果を得るために、できるだけ検査当日朝の運動は控えください。 ■薬剤のAICS®値への影響に関してはわかっておりません。検査当日のお薬の服用方法については、事前に主治医へご相談のうえ、その指示に従ってください。 ■大型連休においては、検査できない日があります。
肝炎ウイルス	B型肝炎	B型肝炎ウイルスの存在とB型肝炎ウイルスの抗体価（過去に感染したことがある、または予防接種（ワクチン接種）による免疫がある）を調べます。
	C型肝炎	C型肝炎ウイルスの存在を調べます。HCV抗体が基準値を超えている場合、検査を順次行い、「現在、感染している」かどうかの判定を行います。
免疫	CRP	炎症の強さを見る検査です。
	RF（リウマトイド因子）	関節リウマチなどの自己免疫疾患の発見に役立ちます。
胃	ピロリ菌	ピロリ菌の感染の有無を調べます。胃潰瘍、十二指腸潰瘍や胃炎の発見に役立ちます。
	ペプシノーゲン	胃粘膜の萎縮が強いほど胃がんになりやすいといわれています。この検査は、胃粘膜の萎縮の進み具合を調べ、胃がんに罹患可能性が高いかどうかを知ることができます。
心臓	BNP	心臓に負担がかかっているかどうかを知ることができます。
甲状腺機能検査	甲状腺刺激ホルモン（TSH） 抗サイログロブリン抗体 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 遊離トリヨードサイロニン（FT3） 遊離サイロキシニン（FT4）	甲状腺機能の亢進または低下が起こるとそれぞれの値が変化し、その変化を総合的に判断して判定を行います。甲状腺刺激ホルモンとFT3・FT4の関係から、ホルモンの分泌異常が甲状腺機能自体にあるのか、または、甲状腺を刺激するところにあるかの鑑別が出来ます。
感染症	過去に病気に感染したり、予防接種で免疫がある場合は、基準値より高くなります。	
	風疹（三日はしか）	風疹（三日はしか）に対する抗体の量を調べます。
	麻疹（はしか）	麻疹（はしか）に対する抗体の量を調べます。
	ムンプスウイルス（おたふく風邪）	ムンプス（おたふく風邪）に対する抗体の量を調べます。
	水痘・帯状疱疹ウイルス（水ぼうそう）	水痘（水ぼうそう）・帯状疱疹に対する抗体の量を調べます。
	新型コロナウイルス	新型コロナウイルスに対する抗体の量を調べます。
アレルギー検査	アレルゲン特異的IgE 抗体の測定により、アレルギー症状の原因物質（アレルゲン）を調べます。	
	動物アレルギー	動物上皮（犬、猫）
	ハウスダスト	ハウスダスト、ヤケヒョウヒダニ
	花粉	スギ、ヒノキ、カモガヤ
	ハチ	スズメバチ、アシナガバチ、ミツバチ
	食物アレルギー（5項目）	卵白、牛乳、小麦、ピーナッツ、大豆
食物アレルギー（8項目）	卵白、牛乳、小麦、ピーナッツ、大豆、ソバ、エビ、カニ	
骨	骨密度検査	超音波を用いて骨量を測定し、将来の骨折リスクを予測します。